



渋川市の近隣の七福神巡り 8カ所に祭られる七福神の像や絵を見学

4月19日に、渋川市近隣で、渋川市中央公民館成人学級「渋川市の近隣の七福神巡り」が行われました。参加した9名は、渋川市役所を出発し、渋川市、吉岡町、榛東村にある8か所の七福神を祭る神社・仏閣をバスで巡りました。講師や宮司、住職などの話を熱心に聞きながら、地域について理解を深めました。



おのがみ湯けむりマルシェフェスティバル 日帰り温泉に出店でにぎわい



4月29日に小野上温泉センターハタの湯で、おのがみ湯けむりマルシェフェスティバルが行われました。会場では、焼きそばや焼きまんじゅう、綿あめなどの軽食販売のほか、射的や多肉植物の販売も行われ、温泉利用者も含め、子どもから大人まで多くの来場者が楽しみました。

地域の命を守る体制づくり委員会 住民一丸となって災害に備える



5月10日に市役所本庁舎で、地域の命を守る体制づくり委員会キックオフミーティングが開催されました。これは、昨年改定した地域防災計画やマニュアルの実効性を検証し、さらに向上させるためのもので、住民一丸となって災害に備える体制づくりをスタートさせました。

起震車での防災訓練 大地震の揺れを疑似体験

5月2日に、豊秋小学校で避難訓練が行われ、県内に1台しかない起震車で、6年生約20名が過去の大地震や、近い将来発生が予想される大地震を疑似体験しました。揺れの様子に、見ている生徒からは驚きの声が上がリ、地震が発生したときにどう自分の身を守るのかを考えていました。



「北橋メグール」出発式 良好な公共交通の実現へ出発！



出発式の様子はこちら

4月15日に北橋中学校で、北橋地区予約型バス「北橋メグール」出発式が行われました。式では、愛称募集受賞者の表彰や鍵の贈呈が行われ、愛称募集に協力した北橋中学校の生徒などが参加。生徒たちが見守る中、良好な公共交通ネットワークの構築に向け、北橋メグールが出発しました。



金島公民館の家庭教育支援学級 幼児期の子どもとの接し方を学ぶ



4月23日に金島公民館で、家庭教育支援学級「幼児期に大切なこと」が開催されました。将来へつながる心を育むため、幼児の行動の意味を考えながら、保護者と子どもの正しい接し方を解説。参加者は講師からの質問に答えながら、和やかな雰囲気の中で傾聴していました。

古巻中学校の平和学習 被爆体験を後生に伝え残すために



4月21日に古巻中学校で、「被爆体験伝承講話」が開催されました。講師の甲斐晶子さんは、参加した1・2年生に、広島で被爆した在日韓国人の体験について説明。講話後に生徒の代表が「修学旅行で広島に行った際に、今日の話を出し、平和について学んでほしい」と話していました。

しぶかわ桜まつり 見て、食べて、体験して3年ぶりの桜まつり

4月16日に市総合公園で、「しぶかわ桜まつり」が3年ぶりに開催されました。天候が心配されましたが、暖かい春の陽気となり、多くの人でにぎわいました。桜を眺めながら市内の飲食店の軽食を楽しんだり、スタンプラリーや射的、ショベルカーの運転体験など楽しいイベントに子どもたちは夢中でした。

